



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第35号

令和6年2月16日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 伝統の「旗手」決定！

先週月曜の授業後に、2年生の生徒3名が職員室にきました。この生徒は、今年度の「旗手」候補ということで、旗手を務めるにあたっての意気込みや思いを職員に向けて伝えました。本校で代々引き継がれている「規約」に則って、この場で先生方の承認を経て、3人が今年度の「旗手」になることが正式に決定しました。

保護者の皆様も入学式の際にご覧いただいたように、本校で行われる3つの式典（入学式・卒業式・修了式）では、旗手の入退場によって式典が開始・終了されます。今年度、旗手を務めることになった3人の生徒も、長く受け継がれる伝統をしっかりと受け継ぎ、3月・4月に行われる各式典をより格式高いものにしてくれるよう、全校みんなで応援しましょう！！



♪ 「学び」でつながる

12月下旬に本校で実施をした先生たちの「授業研修会」について、以前学校だよりでその様子をお伝えしましたが、その時に講師としてお越しいただいた先生がご自身のホームページで、本校の研修について先日記載をされていたので、その内容を紹介しします（以下、原文引用）。

【講師の先生の記載より】

（生徒が「Google チャット」を授業で使いながら、互いに意見交流する様子から）

- ・ 一斉授業では出てこないつぶやきが出出されている
- ・ それに応えている子どもがいる
- ・ 入力値がどうしても言葉足らずになるのでそこを言及することで、深い学びに向かっていくことができる
- ・ 図の投稿により、その図を生み出すまでの思考過程を明らかにすることが自然である

など（長所が）多数

【帯同されていた大学生の記録より】

今回は、Google チャットを使った数学の授業を参観しました。「ここまではわかるけど、ここからはわからない」「OOってどういうこと？」など、様々な呟きが見られました。

Google チャットは

- ・ 普段の授業よりも呟きのハードルが低いため疑問の共有がしやすい
- ・ チャットなしでは拾いきれない意見も拾いやすくなる
- ・ 仲の良い子以外の子ども質問に答えてくれる
- ・ 呟きがチャット上に残るため後で共有がしやすい
- ・ 一つ一つの意見に絵文字やリアクションなど反応ができるため自己肯定感の向上や認め合いにつながる
- ・ できる子が言葉にして説明することでメタ認知できる

などの様々な良さがあり、他の単元や他の教科の授業でも活用できるのではないかと、可能性を感じました。



音楽科では、鑑賞の授業で活用すると特に面白そうです。

最近はロイロノートを使った授業が多いですが、今回の授業参観をきっかけに、それ以外のツールにも目を向けてみようと思えました。ロイロノートは学校教育のために作られたツールであり、子どもたちが大人になって社会に出た時に直接生かすことができるツールではないからです。色んなツールに目を向け、効果的に活用していきたいと思いました。今回もすてきな学びをありがとうございました！

本校の教員が学ぶ機会とするために実施をした本研修でしたが、ご指導に来ていただいた講師の先生にとっても気付きがある有意義な会になったことを大変嬉しく思います。今後も本校が、日々刻々と変化する社会で活躍する人材が育つ場になるよう、授業や学校のあり方の絶え間ないアップデートに努めていこうと思います。